

平成19年9月

「マリンポートかごしま」大型客船入港に伴う
船舶航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、「マリンポートかごしま」への大型客船入港について、港湾施設と客船の入出港操船および係留の関係を調査検討し、必要な航行安全対策を取りまとめた。

主な検討内容としては、自然環境を勘案した外力条件の設定のもとに、12万GT級客船に作用する風圧力・流圧力、着岸岸壁の防舷材吸収エネルギーと許容接岸速度、OCIMFの計算手法による係船策配置と係留力等である。対象とした大型客船は、優れた操船性能諸元を備えていることから、比較的簡易でかつ要点を絞った検討にとどめることが出来たが、今後の課題として同等な性能を有する客船を除き、今回の検討結果を他の船舶に対してそのまま適用することはできないため、対象船舶の船種・船型に応じて改めて検討するよう提言した。

2 調査等概要

- (1) 調査概要
- (2) 大型客船入港計画の概要
- (3) 航行環境
- (4) 安全性の検討
- (5) 航行安全対策